

新旧対照表

改正後	改正前
<p>(火災に関する警報)</p> <p>第3条 法第22条第3項の規定による火災に関する警報に関し、火災の予防上危険であると認める気象の状況は、<u>条例第29条の8の規定に基づき火災に関する注意報が発令され、かつ、次のいずれかに該当する場合とする。</u></p> <p>(1) <u>平均風速20メートル以上</u>となった場合</p> <p>(2) 実効湿度<u>55パーセント以下</u>となった場合</p> <p>(3) <u>火災発生の危険性が大であると認められる場合</u></p> <p>(標識等の様式)</p> <p>第11条 条例<u>第7条の3</u>第1項第5号、第12条第1項第7号（同条第3項、条例第12条の2第2項、第13条第2項及び第3項、第13条の2第1項及び第3項並びに第14条第2項及び第4項の規定において準用する場合を含む。）、第18条第3号、第24条第2項及び第3項第2号、第31条の3第2項第1号（条例第34条第3</p>	<p>(火災に関する警報)</p> <p>第3条 法第22条第3項の規定による火災に関する警報に関し、火災の予防上危険であると認める気象の状況は、<u>次に掲げる場合に該当するものとする。</u></p> <p>(1) <u>風速15メートル以上</u>となった場合</p> <p>(2) 実効湿度<u>45パーセント以下に低下した場合</u></p> <p>(3) <u>風速8メートル以上となり、実効湿度60パーセント以下に低下し、火災発生の危険率が大であると認められる場合</u></p> <p>(標識等の様式)</p> <p>第11条 条例<u>第7条の2</u>第1項第5号、第12条第1項第7号（同条第3項、条例第12条の2第2項、第13条第2項及び第3項、第13条の2第1項及び第3項並びに第14条第2項及び第4項の規定において準用する場合を含む。）、第18条第3号、第24条第2項及び第3項第2号、第31条の3第2項第1号（条例第34条第3</p>

項の規定において準用する場合を含む。）、第33条の2第3項及び第4項、第34条の2第2項第1号、第41条第2項第6号、第48条第4号（条例第50条の規定において準用する場合を含む。）、第50条の3第2項並びに第50条の10第2項第2号の規定により設ける標識等の様式は、別表に定めるとおりとする。

（申請書等の様式等）

第12条 条例及びこの規則による申請書、届出書等の様式は、次に定めるところによる。

(1)～(9) [略]

(10) 炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー・給湯湯沸設備・乾燥設備・簡易サウナ設備・一般サウナ設備・ヒートポンプ冷暖房機・火花を生ずる設備・放電加工機設置届出書 条例第53条第1号から第11号まで関係 様式第10号

(11) 削除

(12)～(33の8) [略]

(34) 届出済の印 次条第2項関係 様式第35号

(35) [略]

2、3 [略]

項の規定において準用する場合を含む。）、第33条の2第3項及び第4項、第34条の2第2項第1号、第41条第2項第6号、第48条第4号（条例第50条の規定において準用する場合を含む。）、第50条の3第2項並びに第50条の10第2項第2号の規定により設ける標識等の様式は、別表に定めるとおりとする。

（申請書等の様式等）

第12条 条例及びこの規則による申請書、届出書等の様式は、次に定めるところによる。

(1)～(9) [略]

(10) 炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー・給湯湯沸設備・乾燥設備・ヒートポンプ冷暖房機・火花を生ずる設備・放電加工機設置届出書 条例第53条第1号から第7号まで及び第9号から第11号まで関係 様式第10号

(11) サウナ設備設置届出書 条例第53条第8号関係 様式第11号

(12)～(33の8) [略]

(34) 届出済の印 次条第2項関係 様式第34号及び様式第35号

(35) [略]

2、3 [略]

(届出書等の提出部数及び届出済み等の印)

第13条 前条第1項第2号の申請書及び同項第21号の届出書は、正副各1通提出するものとする。

2 消防署長は、前項の届出書による届出があつたときは、当該届出書の副本に届出済の印を押して届出者に交付するものとする。

3 [略]

(届出書等の添付書類)

第14条 [略]

2 [略]

3、4 [略]

別表 (第11条関係)

(届出書等の提出部数及び届出済み等の印)

第13条 前条第1項第2号の申請書並びに同項第20号の3、第21号及び第27号の届出書は、正副各1通提出するものとする。

2 消防長又は消防署長は、前項の届出書による届出があつたときは、当該届出書の副本に届出済の印を押して届出者に交付するものとする。

3 [略]

(届出書等の添付書類)

第14条 [略]

2 [略]

3 第1項各号及び前項各号に掲げる図書は、届出先となる消防長又は消防署長が認めた場合に限り、当該図書に係る電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によつては認識することができない方式で作られる記録であつて、電子計算機による情報処理の用に供されるものをいう。）を電磁的記録媒体（電磁的記録に係る記録媒体をいう。）に複写したものによつて提出することができる。

4、5 [略]

別表 (第11条関係)

根拠 条文	標識等の種 類	標識等	寸 法		色	
			幅 c m	長 さ c m	地	文 字
条 例 第 7	〔略〕	〔略〕	〔略〕	〔略〕	〔略〕	〔略〕
条 の			〕	〕	〕	〕
3 第 1 項 第 5 号		〔略〕	〔略〕	〔略〕		
〔略〕	〔略〕	〔略〕	〔略〕	〔略〕	〔略〕	〔略〕

根拠 条文	標識等の種 類	標識等	寸 法		色	
			幅 c m	長 さ c m	地	文 字
条 例 第 7	〔略〕	〔略〕	〔略〕	〔略〕	〔略〕	〔略〕
条 の			〕	〕	〕	〕
2 第 1 項 第 5 号		〔略〕	〔略〕	〔略〕		
〔略〕	〔略〕	〔略〕	〔略〕	〔略〕	〔略〕	〔略〕

改正後

様式第 3 号（その 4）

条 例 に よ る 届 出 施 設 表

施 設 名	届出年月日	番 号	場 所	備 考
・ ・				
・ ・				
・ ・				
・ ・				
・ ・				
・ ・				
・ ・				
・ ・				
・ ・				
・ ・				
・ ・				
・ ・				
・ ・				
・ ・				
・ ・				
・ ・				
・ ・				
・ ・				
・ ・				
・ ・				

注 炉、<sup>542</sup>厨房設備、ボイラー、乾燥設備、簡易・一般サウナ設備、火花を生ずる設備、変電・発電・燃料電池・蓄電池設備、ネオン管灯設備その他火を使用する設備を記入すること。

改正前

様式第 3 号（その 4）

条 例 に よ る 届 出 施 設 表

施 設 名	届出年月日	番 号	場 所	備 考
	・ ・			
	・ ・			
	・ ・			
	・ ・			
	・ ・			
	・ ・			
	・ ・			
	・ ・			
	・ ・			
	・ ・			
	・ ・			
	・ ・			
	・ ・			
	・ ・			
	・ ・			
	・ ・			
	・ ・			
	・ ・			
	・ ・			
	・ ・			
	・ ・			

注 炉、<sup>調理</sup>厨房設備、ボイラー、乾燥設備、サウナ設備、火花を生ずる設備、変電・発電・燃料電池・蓄電池設備、ネオン管灯設備その他火を使用する設備を記入すること。

注 炉、<sup>※</sup>厨房設備、ボイラー、乾燥設備、簡易・一般サウナ設備、火花を生ずる設備、変電・発電・燃料電池・蓄電池設備、ネオン管灯設備その他火を使用する設備を記入すること。

注 炉、<sup>103</sup>厨房設備、ボイラー、乾燥設備、サウナ設備、火花を生ずる設備、変電・発電・燃料電池・蓄電池設備、ネオン管灯設備その他火を使用する設備を記入すること。

様式第10号（表）

炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー 給湯湯沸設備・乾燥設備 <u>簡易サウナ設備・一般サウナ設備</u> 設置届出書 ヒートポンプ冷暖房機 火花を生ずる設備・放電加工機										
神戸市消防長 宛										
1 届出者 住 所 (電話) 氏 名 次の設備を設置するので、神戸市火災予防条例第53条の規定により次のとおり届け出ます。										
2 防火対象物	所在地	区 (電話)								
	名称			主要用途						
3 設置場所	用途			床面積	㎡		消防用設備等			
	構造			階層						
4 届出に係る設備	設備の種類									
	工事種別		<input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 移設 <input type="checkbox"/> 取替え <input type="checkbox"/> 改造 <input type="checkbox"/> その他							
	着工(予定)		年 月 日		完成(予定)		年 月 日			
	設備の概要	位置								
			構造							
	使用する燃料・熱源・加工液		種類							
			使用量(入力量)							
安全装置										
5 取扱責任者	職・氏名									
6 工事施工者	住 所		(電話)							
	氏 名									
※ 受 付 欄				※ 経 過 欄						

様式第10号（表）

炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー 給湯湯沸設備・乾燥設備 ヒートポンプ冷暖房機 火花を生ずる設備・放電加工機										
神戸市消防長 宛										
1 届出者 住 所 (電話) 氏 名 次の設備を設置するので、神戸市火災予防条例第53条の規定により次のとおり届け出ます。										
2 防火対象物	所在地	区 (電話)								
	名称				主要用途					
3 設置場所	用途				床面積	㎡		消防用設備等		
	構造				階層					
4 届出に係る設備	設備の種類									
	工事種別		<input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 移設 <input type="checkbox"/> 取替え <input type="checkbox"/> 改造 <input type="checkbox"/> その他							
	着工(予定)		年 月 日			完成(予定)		年 月 日		
	設備の概要	位置								
			構造							
	使用する燃料・熱源・加工液		種類							
			使用量(入力量)							
安全装置										
5 取扱責任者	職・氏名									
6 工事施工者	住 所		(電話)							
	氏 名									
※ 受 付 欄				※ 経 過 欄						

# 様式第10号（裏）

## 備考

- 1 この届出書は、本人又はその代理人が記入すること。
- 2 届出事項を○で囲むこと。
- 3 ※の欄は、記入しないこと。
- 4 □印のある欄については、該当の□印にレを付けること。
- 5 当該設備の設計図書を添付すること。
- 6 1の欄については、届出者が法人である場合は、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- 7 2の欄の「所在地」は、届出者の住所と同一であれば、同上と記入すること。
- 8 3の欄の「用途」は、ボイラー室、炊事室等と具体的に記入すること。
- 9 3の欄の「階層」は、屋外に設置する設備は、屋外と記入すること。
- 10 4の欄の「設備の種類」は、鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉、業務用厨房設備等と記入すること。
- 11 4の欄の「構造」は、放電加工機については、危険物保安技術協会による型式試験確認済証に記載されている確認番号及び確認年月日を記載すること。
- 12 4の欄の「使用量（入力量）」の単位は、キロワットとすること。
- 13 4の欄の「安全装置」とは、自動式若しくは手動式のダンパー（防火ダンパーを含む。）による閉鎖装置、ダンパーの作動と合わせて熱風を他へ放出する装置又は一定の温度で溶融する金属を用いてコックを閉鎖する構造をいう。
- 14 5の欄の取扱いにつき主管課等がある場合はその代表者の職及び氏名を、その他の場合は直接の取扱者の職及び氏名を記入すること。
- 15 6の欄には、直接の工事人又は現場監督者を記入し、事務所等がある場合は、その所在地を記入すること。

# 様式第10号（裏）

## 備考

- 1 この届出書は、本人又はその代理人が記入すること。
- 2 届出事項を○で囲むこと。
- 3 ※の欄は、記入しないこと。
- 4 □印のある欄については、該当の□印にレを付けること。
- 5 当該設備の設計図書を添付すること。
- 6 1の欄については、届出者が法人である場合は、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- 7 2の欄の「所在地」は、届出者の住所と同一であれば、同上と記入すること。
- 8 3の欄の「用途」は、ボイラー室、炊事室等と具体的に記入すること。
- 9 3の欄の「階層」は、屋外に設置する設備は、屋外と記入すること。
- 10 4の欄の「設備の種類」は、鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉、業務用厨房設備等と記入すること。
- 11 4の欄の「構造」は、放電加工機については、危険物保安技術協会による型式試験確認済証に記載されている確認番号及び確認年月日を記載すること。
- 12 4の欄の「使用量（入力量）」は、火花を生ずる設備及び放電加工機以外の設備は、1時間当たりの入力を入力すること。この場合の入力量は、次の換算表において換算すること。

設 備	換 算 式 等		
液体燃料を熱源とする設備	入力量＝燃料の低発熱量×燃料消費量		
	(MJ/h)	(MJ/l)	(l/h)
	燃 料 名		低発熱量 (MJ/l)
	灯 油		34.5
	軽 油		35.2
	重油	A 重 油	37.3
		B 重 油	38.1
C 重 油		38.2	
気体燃料を熱源とする設備	入力量＝燃料の発熱量×燃料消費量		
	(MJ/h)	(MJ/m <sup>3</sup> )	(m <sup>3</sup> /h)
	燃 料 名		発熱量 (MJ/m <sup>3</sup> )
	都市ガス (13A)		46
	プロパンガス		99

- 13 4の欄の「安全装置」とは、自動式若しくは手動式のダンパー（防火ダンパーを含む。）による閉鎖装置、ダンパーの作動と合わせて熱風を他へ放出する装置又は一定の温度で溶融する金属を用いてコックを閉鎖する構造をいう。
- 14 5の欄の取扱いにつき主管課等がある場合はその代表者の職及び氏名を、その他の場合は直接の取扱者の職及び氏名を記入すること。
- 15 6の欄には、直接の工事人又は現場監督者を記入し、事務所等がある場合は、その所在地を記入すること。

様式第11号 削除

様式第11号

サウナ設備設置届出書										
神戸市消防長 宛										
年 月 日										
1 届出者										
住 所										
(電話 )										
氏 名										
サウナ設備を設置するので、神戸市火災予防条例第53条の規定により次のとおり届け出ます。										
2 防 火 対 象 物	所 在 地	区 (電話 )								
	名 称				主 要 用 途					
3          届 出 に 係 る 設 備	工 事 種 別	<input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 移設 <input type="checkbox"/> 取替え <input type="checkbox"/> 改造 <input type="checkbox"/> その他								
	防火責任者	職・氏名								
	サ ウ ナ 室	規 模 等	設置階	室 数	面 積	出入口数				
		構 造 等	壁及び床	開口部の扉	内装材	断 熱 材				
	熱源種別	<input type="checkbox"/> 灯油 <input type="checkbox"/> 重油 <input type="checkbox"/> 都市ガス <input type="checkbox"/> L Pガス <input type="checkbox"/> まき <input type="checkbox"/> 石炭 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> その他 ( )					容量	k w		
	安全装置	<input type="checkbox"/> 自動停止装置 <input type="checkbox"/> 自動ガス遮断装置 <input type="checkbox"/> サーモスタット <input type="checkbox"/> その他 ( )				最高室 温	℃			
	消 防 用 設 備 等	<input type="checkbox"/> 消火器 <input type="checkbox"/> スプリンクラー設備 <input type="checkbox"/> 自動火災報知設備 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
	着工(予定)年月日				完成(予定)年月日					
	4 工 事 施 工 者	住 所	(電話 - )							
		氏 名								
※ 受 付 欄					※ 経 過 欄					



様式第27号を次のように改める。

消防用設備等設置計画届出書

神戸市消防長 宛		届出者（建築主）	
神戸市火災予防条例第66条の2の規定により次のとおり届け出ます。		住所(〒)	
		氏名	
		電話	
代理者氏名		代理者建築士事務所名	
代理人電話			
敷地名地番		竣工予定日	
防火地域		用途地域	
建築物の高さ		建築物の軒高	
用途		[令別表第1( )項]	
工事種別		構造	
		耐火 準耐火(イロ)	
敷地面積		建築面積	
延べ面積			
階別			
申請部分			
申請以外の部分			
合計			
用途			
消火器			
屋内消火栓設備(1号・易操作1号・2号・広範囲型2号)			
スプリンクラー設備(SP・共用用・水道連結型)			
水噴霧消火設備			
泡消火設備(泡・特定駐車場用泡)			
不活性ガス消火設備( )			
ハロゲン化物消火設備( )			
粉末消火設備(移動式・固定式)			
屋外消火栓設備			
自動火災報知設備(自火報・住戸用・共用用・特定小規模)			
消防機関へ通報する火災報知設備			
非常警報設備(自動式サイレン・放送)			
避難器具( )			
誘導灯			
誘導標識			
消防用水			
排煙設備			
連結散水設備			
連結送水管			
非常コンセント設備			
非常電話			
パッケージ型消火設備(Ⅰ型・Ⅱ型)			
パッケージ型自動消火設備(Ⅰ型・Ⅱ型)			
フード専用簡易自動消火装置			
住宅用火災警報器			
予定収容人員			
無 窓 階			

## 消防用設備等の概要

[illegible]

※用紙サイズは、日本産業規格 A 列 3 番 (A 3 サイズ) とし、確認申請書等の付近見取図の前に添付すること。

#### 消防用設備等設置計画届出書 作成要領

- 1 建築基準法第6条第1項に基づく確認申請が必要な建築等に伴い消防用設備等を設置しようとする場合、建築主は本届出書を作成し、確認申請書等の付近見取図の前に添付すること。
- 2 記入に当たって、手書きの場合はペン又はボールペンを使用すること。ただし、消去可能な筆記具（消せるボールペン等）は使用しないこと。
- 3 2以上の防火対象物を建築しようとする場合は、それぞれの防火対象物ごとに本届出書を作成すること。
- 4 「建築物の高さ」欄には、建築基準法施行令第2条第6号に規定する高さを、「建築物の軒高」欄には、同条第7号に規定する軒の高さを記入すること。
- 5 本届出書における法令の略称は、消防法施行令を「令」、消防法施行規則を「規則」、神戸市火災予防条例を「条例」とする。
- 6 「貯蔵取扱い等」欄は、該当するものを○で囲み、容量等を記入すること。
- 7 「階別」は、消防法施行令第8条に規定する区画ごとに記入すること。なお、「階別」欄が10以上必要な場合は、本届出書を複数枚使用して記入すること。
- 8 「消防用設備等」欄には、設置する消防用設備等を階別ごとに「設置」又は「○」と記入すること。
- 9 「消防用設備等」欄に掲げるもの以外の消防用設備等を設置する場合は、空白欄の左側に設備名を記入し、設置する階ごとに「設置」又は「○」と記入すること。
- 10 予定収容人員は、消防法施行規則第1条の3の規定に基づき算定し、「予定収容人員」欄には、階別の予定収容人数を記入すること。
- 11 「無窓階」欄には、無窓階に該当する階には「無窓」、それ以外の階には「一」と記入すること。
- 12 普通階がある場合は、当該階について消防法施行規則第5条の5に規定する避難上又は消火活動上有効な開口部に係る計算書を本届出書に添付すること。ただし、神戸市火災予防条例第56条の2第2項に規定する申請又は通知に添付された平面図に、前記の記載がある場合は、当該計算書の添付を省略できる。
- 13 以下の事項や届出書に記載できない内容については、別紙に図示又は記入し、添付すること。
  - (1) 消防法施行令第8条に規定する区画された部分
  - (2) 特定共同住宅等における必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等に関する省令（平成17年総務省令第40号）第2条第6号に規定する開放型廊下の検証
  - (3) 渡り廊下に関する事項
  - (4) 増築時の既存部分との関係
  - (5) 神戸市火災予防条例第50条の10第2項に規定する可燃性発泡樹脂の使用状況
- 14 「防火管理計画等の概要」欄は、該当項目を○印で囲み、必要事項を記入すること。
- 15 「特記事項」欄には、以下の事項を記入すること。
  - (1) 建築物の使用形態
  - (2) 危険物、高圧ガス又は火薬類施設についての許可申請の有無
  - (3) 防火上の制限又は消防用設備等の設置に関する緩和規定又は特例基準の適用条件
  - (4) 消防法施行令第8条に規定する区画、その他防火区画の計画
  - (5) 消防用設備等の消防関係法令適合性
  - (6) その他、防火上特に必要な事項
- 16 用紙サイズは、日本産業規格A列3番（A3サイズ）とすること。
- 17 書面で本届出書を提出した後には訂正が必要な場合は、訂正箇所に二重線を引き、見え消しとすること。

様式第34号 削除

様式第34号

